

リハビリテーション部

1. スタッフ構成

○椿 崇仁(整形外科主任部長、救命救急センター副センター長、リハビリテーション部長、リハビリテーション科主任部長、地域医療連携室副室長)

<理学療法士>

○森川 明(技師長)、片木 祐志(副技師長)、木口 大輔(担当係長)、都築 宏正、増田 一基、天野 貴裕、藤田 典道、渡部 遥子、青木 卓也、武智 悠二、山上 夏実、清水 麻美、黒川 絢帆、仙波 由梨、小西 優治、樋口 樹里、二宮 美里、松本 由希子、大野 聖佳

<作業療法士>

○林 美里、中迫 紀彦、佐竹 敬太、小島 裕希子、石山 健太、三原 真菜美、上甲 早苗

<言語聴覚士>

○三瀬 和人、鈴木 万葉、伊藤 貴子、藤森 撰

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本理学療法士協会専門理学療法士(内部障害)	木口大輔
日本理学療法士協会認定理学療法士(運動器)	松本由希子
日本理学療法士協会認定理学療法士(脊髄障害)	木口大輔、藤田典道、青木卓也
日本理学療法士協会認定理学療法士(呼吸)	都築宏正
日本理学療法士協会認定理学療法士(代謝)	天野貴裕
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会修了	森川明
日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会修了	木口大輔、都築宏正、天野貴裕、藤田典道、青木卓也、武智悠二、渡部遥子
日本作業療法士協会臨床実習指導者講習会修了	林美里、中迫紀彦、佐竹敬太、小島裕希子、三原真菜美、上甲早苗
日本理学療法士協会生涯学習制度新人教育プログラム臨床指導施設講師	木口大輔、青木卓也
日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム基礎講座講師	藤森撰、三瀬和人
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士	片木祐志、天野貴裕、青木卓也

日本理学療法士協会介護予防推進リーダー	木口大輔、天野貴裕、藤田典道、青木卓也、渡部遥子
日本理学療法士協会地域包括ケア推進リーダー	木口大輔、藤田典道、青木卓也
日本理学療法士協会フレイル対策推進マネージャー	木口大輔、青木卓也
日本理学療法士協会協会指定管理者(上級)	森川明、木口大輔、藤田典道、青木卓也
日本作業療法士協会認定作業療法士	中迫紀彦
日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士(失語・高次脳機能障害領域)	三瀬和人
日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)	三瀬和人
日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会 3 学会合同呼吸療法認定士	木口大輔、都築宏正、天野貴裕、大野聖佳、中迫紀彦、石山健太、松本由希子、三原真菜美
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸ケア指導士	木口大輔、都築宏正、天野貴裕、三瀬和人
日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士	天野貴裕
日本腎臓リハビリテーション学会腎臓リハビリテーション指導士	天野貴裕
日本健康運動指導士会健康運動指導士	天野貴裕
日本障がい者スポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員	木口大輔、藤田典道、青木卓也、渡部遥子
日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療法士	三瀬和人
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	三瀬和人、鈴木万葉
日本循環器学会心不全療養指導士	黒川絢帆
日本認知症ケア学会認知症ケア専門士	三瀬和人
日本科学技術連盟 QC サークル上級指導士	三瀬和人
愛媛県介護支援専門員	三瀬和人
文部科学省・厚生労働省公認心理師	林美里、三瀬和人、鈴木万葉
愛媛相談支援協会障がい者相談支援専門員	小島裕希子

3. 運営方針

チーム医療を推進する精神のもと、患者さんやご家族に優しく、身体機能の回復に最大限の努力を注ぎます。質の高いリハビリテーション医療を提供すべく、自らの技術を日々向上させるよう研鑽に努めています。また、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職種が急性期の幅広い疾患に対応するため、疾患別の専門リハビリチームを編成し、高度でより専門的なリハビリテーションが行えるシステムを構成しています。

4. 実績

<対象疾患>

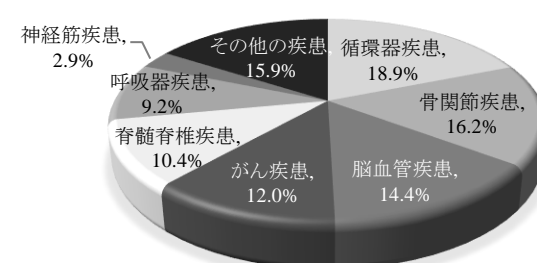
- (1) 脳血管疾患リハ:脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷、脳炎等、脊髄損傷、脊髄腫瘍等、多発性神経炎、多発性硬化症、パーキンソン病等
- (2) 運動器疾患リハ:上肢・下肢・体幹の外傷、骨折、切断、複合損傷等、関節の変性、炎症性疾患、熱傷等
- (3) 呼吸器疾患リハ:COPD、間質性肺炎、肺結核後遺症、慢性気管支炎、肺炎、無気肺、胸腹部外科手術後等
- (4) 心大血管疾患リハ:心不全、弁膜症、心筋梗塞、狭心症、大動脈解離、解離性大動脈瘤、開心・大血管手術後等
- (5) がんリハ:造血器腫瘍、肺がん、消化器がん、頭頸部がん、乳がん等

■ 疾患別リハビリ依頼患者数

疾患(ICD10 準拠)	患者数
脳血管疾患	
脳梗塞	162
脳出血	79
くも膜下出血	59
頭部外傷	63
脳腫瘍	52
脳炎・髄膜炎	23
その他	123
神経筋疾患	
パーキンソン病	7
多巣性運動ニューロパチー	40
多発性硬化症	6
ギランバレー症候群	8
重症筋無力症	15
その他	36
脊髄脊椎疾患	
脊髄損傷	44
脊椎骨折	34
脊椎変性疾患	206
その他	123
骨関節疾患	
大腿骨頸部骨折	20
上肢骨折	118
下肢骨折(骨盤骨折含む)	115

多発骨折	21
関節変性疾患	166
切断	33
その他	159
呼吸器疾患	
肺炎	171
慢性閉塞性疾患	15
間質性肺炎	57
その他	114
循環器疾患	
虚血性心疾患	122
心不全	255
大動脈瘤	139
心臓弁膜症	123
その他	99
がん疾患	
血液がん	187
乳房がん	55
肺がん	148
消化器がん	48
頭頸部がん	8
その他	22
その他の疾患	621
合計	3,896

■ 疾患別リハビリ患者数の割合



■ 外来新患者数

分類	患者数
上肢障害	116
下肢障害	24
小児言語	2
呼吸障害	49
高次脳機能障害	8
その他	1
合計	200

■ リハビリテーション部依頼患者数

・ 4,096名

当院では地域連携パスの計画管理病院として、大腿骨頸部骨折は2009年12月より、脳卒中は2010年7月より参加しています。

■ 地域連携パス対象患者数

	パス対象	パス対象外
大腿骨頸部骨折	0	20
脳卒中	2	298

■ リハビリテーション実施単位数

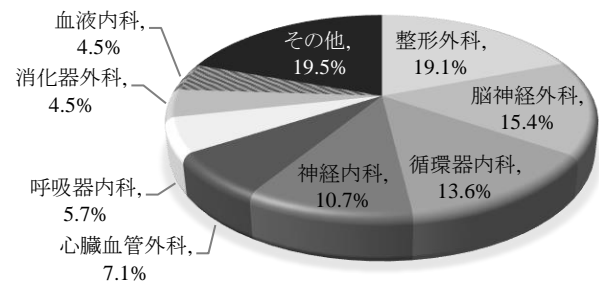
区分	2018	2019	2020	2021	2022
心大血管疾患 リハビリテーション料(I)	16,888	16,764	12,433	12,359	10,989
脳血管疾患等 リハビリテーション料(I)					
理学療法	18,311	14,710	13,266	11,685	11,869
作業療法	14,070	11,473	9,254	9,951	10,604
言語聴覚療法	7,734	7,141	5,071	4,565	4,880
小計	40,115	33,324	27,591	26,201	27,353
廃用症候群リハビ リテーション料(I)					
理学療法	4,721	5,687	4,541	5,064	5,841
作業療法	1,545	2,213	2,429	2,521	2,615
言語聴覚療法	38	101	46	44	67
小計	6,304	8,001	7,016	7,629	8,523
運動器リハビ リテーション料(I)					
理学療法	26,659	28,622	19,538	16,699	19,007
作業療法	3,049	3,108	4,640	4,622	4,887
小計	29,708	31,730	24,178	21,321	23,894
呼吸器リハビ リテーション料(I)					
理学療法	6,139	5,705	3,540	4,236	4,113
作業療法	1,598	1,120	922	1,361	2,294
小計	7,737	6,825	4,462	5,597	6,407
がん患者リハビ リテーション料	8,230	6,700	5,933	4,439	4,285
合計	108,982	103,344	81,613	77,546	81,451
リハビリテーション 総合計画評価料	5,551	4,237	572	369	343
初期加算	45,868	43,326	36,255	35,631	36,298
早期リハビリテ ーション加算	71,502	68,081	54,623	49,852	55,166
退院時リハビ リテーション指導料	1,092	661	1	257	274
摂食機能療法	3,015	2,989	2,995	2,860	3,613
消炎鎮痛等処置 器具等(人)	189	171	54	121	29

■ 診療科別リハビリ依頼件数内訳

診療科	2018	2019	2020	2021	2022
整形外科	787	837	874	857	891
脳神経外科	717	758	673	598	674
循環器内科	626	674	614	592	508
脳神経内科	622	424	397	384	545
心臓血管外科	299	289	316	330	342
呼吸器内科	241	222	203	273	319
消化器外科	128	135	201	264	280
血液内科	170	205	228	185	201
消化器内科	104	144	122	154	209

救急科	101	150	139	138	196
腎臓内科	118	131	89	88	77
呼吸器外科	94	106	87	92	71
総合診療科	73	98	79	51	55
泌尿器科	65	64	54	55	57
乳腺・内分泌外科	57	52	60	48	71
耳鼻咽喉科	40	36	42	60	48
新生児・小児	58	31	32	55	36
形成外科	51	52	35	32	30
感染症内科	—	—	—	80	67
糖尿病・内分泌内科	11	7	10	19	34
皮膚科	5	20	18	13	17
産婦人科	10	8	4	3	3
眼科	1	0	1	2	2
ペインクリニック内科	0	1	0	1	0
麻酔科	0	1	0	0	0
放射線科	0	0	0	1	0
歯科	1	0	0	0	0
合計	4,379	4,445	4,278	4,375	4,733

■ 依頼件数の内訳



5. 2023 年度目標

(1) 早期介入、高密度リハビリテーションによる回復加速

急性期リハビリテーションにおいて、①早期介入、②多頻度治療、③多単位治療、④多職種介入は治療効果を高めるうえで重要なポイントとされています。先進急性期病院においても、これらの傾向が加速され高水準のリハビリテーションが実施されています。当院は高度先進医療を提供する病院として、リハビリテーション分野においても高品質の医療を提供することが求められています。当部では各診療科からのリハビリ処方に対して、即日リハビリ開始を目標に早期介入の取り組みを行っていきたくと考えています。

(2) 廃用症候群の予防

現在、高齢患者の増加や転倒転落予防により、廃用症候群に至ったリハビリ依頼患者が増加してきています。一般的に廃用性筋萎縮等の治療には、安静期間の約 1.5～2 倍の時間を要するため、廃用症候群は予防が最も重要であり、予防こそ最良の治療であるといわれています。リハビリテーション部は、今年度も入院サポートセンターや病棟との連携を強化し、廃用予防に取り組み、早期機能回復を促していきたいと考えています。

(3) 各疾患別専門リハビリチームの取り組み

各疾患別リハビリ担当者を中心として、専門分野別(運動器・脳

血管・心大血管・呼吸器・がん・廃用症候群)リハビリに取り組んでいます。患者さんの ADL(日常生活動作)改善や QOL(生活の質)向上のため、各関係診療科等のカンファレンスや勉強会に積極的に関わっていきます。これからも各関係診療科の医師や看護師、他のメディカルスタッフ部門との連携を図り、総合的なリハビリの充実を促進していきたいと考えています。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 三瀬和人. 県内における嚥下調整の提供状況. 令和3年度愛媛県言語聴覚士会言語聴覚の日等合同事業. 松山 (2022.1.23)
- 木口大輔. 教育原論・人間関係論. 第628回臨床実習指導者講習会. 松山 (2022.1.29-30)
- 三瀬和人. 失語症について～その原因と対応の仕方～. 愛媛県在宅介護研修センター県民公開講座. 松山 (2022.2.3)
- 上甲早苗, 森田朋未, 三瀬和人, 岡本憲省. 愛媛脳卒中シームレス研究会. 愛媛県脳卒中シームレス研究会. 松山 (2022.2.16)
- 佐竹敬太. 重度四肢麻痺を呈したギラン・バレー症候群患者へのコミュニケーション支援. 第31回四国作業療法士学会. 高知 (2022.2.26-27)
- 木口大輔. 教育原論・人間関係論. 第710回臨床実習指導者講習会. 東温 (2022.4.16-17)
- 青木卓也. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 評価と運動療法(前半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.19)
- 藤田典道. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 疾病の基礎(前半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.19)
- 木口大輔. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 呼吸器合併症(前半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.19)
- 青木卓也. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 評価と運動療法(後半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.26)
- 藤田典道. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 疾病の基礎(後半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.26)
- 木口大輔. 頸椎疾患に対する急性期理学療法の実践 呼吸器合併症(後半). 愛媛県理学療法士会第1回一般研修会. 松山 (2022.5.26)
- 小島裕希子. 認知症患者における作業療法士のかかわりについて. 第43回松山 CDE オープンカンファレンス. Web 開催 (2022.5.27)
- 三瀬和人, 岸田晃和, 林田聡, 真鍋和美, 大谷吉輝, 山岡志奈, 池尻幸司, 来住恵介. (一社)愛媛県言語聴覚士会資料作成グループの活動報告～「訓練教材:失語症動作文課題」および「パンフレット:健康を保つためのお口の体操」の作成と配布～. 第23回日本語聴覚学会. 新潟 (2022.6.24-25)
- 岡田玲奈, 鈴木万葉, 三瀬和人. 多発性脳梗塞により失語性失書と非失語性失書を呈した一例. 第23回日本語聴覚学会. 新潟 (2022.6.24-25)
- 三瀬和人. 意思疎通支援者とは何か. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修. Web 開催 (2022.8.6)
- 鈴木万葉. 失語症概論. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修. Web 開催 (2022.8.6)
- 三瀬和人. 外出同行支援. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修. Web 開催 (2022.8.20)
- 三瀬和人. 意思疎通支援者の心構えと倫理. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修. Web 開催 (2022.8.26)
- 青木卓也. 身体介助の方法. 令和4年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修. Web 開催 (2022.9.3)
- 木口大輔. 造血細胞移植におけるリハビリテーションの役割. 厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」令和4年度看護基礎研修II. 松山 (2022.9.3)
- 天野貴裕, 渡部潤一, 武智悠二, 黒川絢帆, 戎井理. 2型糖尿病患者における運動行動変容段階と抑うつ症状の関連. 第8回日本糖尿病理学療法学会. Web 開催 (2022.9.3-4)
- Junichi Watanabe, Shinya Furukawa. Self-reported sitting time and body mass index in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. 第8回日本糖尿病理学療法学会. Web 開催 (2022.9.3-4)
- 青木卓也, 藤田典道, 木口大輔, 飯本誠治. 令和4年度脊髄障害認定理学療法士カリキュラム. 日本理学療法士協会認定理学療法士臨床認定カリキュラム. 松山 (2022.9.9)
- 木口大輔. 教育原論・人間関係論. 第846回臨床実習指導者講習会. 四国中央 (2022.9.10-11)

- 藤田典道. 脊髄脊髄症センターとリハビリテーション. 愛媛県立中央病院第118回医療連携懇話会. 松山 (2022.9.14)
- 三瀬和人, 鈴木万葉, 岡田玲奈, 山下かおり. チーム活動にコーチングを導入することによって医療の質向上と個人の自己実現につながった経験について. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会. 千葉 (2022.9.23-24)
- 渡部潤一. 身体活動と循環器疾患(脳卒中・心疾患)との関連—予防疫学の知見から—. 愛媛県立中央病院第119回医療連携懇話会. 松山 (2022.10.12)
- 三瀬和人. 研究法序論. 日本語聴覚協会生涯学習プログラム基礎講座. Web 開催 (2022.10.29)
- 三瀬和人. 臨床業務のあり方, 進め方. 日本語聴覚協会生涯学習プログラム基礎講座. Web 開催 (2022.10.29)
- 三瀬和人, 鈴木万葉, 山下かおり, シン・ゴックンプロジェクトの活動報告. 第23回フォーラム『医療の改善活動』全国大会 in 東京. 東京 (2022.11.18-19)
- 清水麻美, 三瀬和人, 青木卓也, 武智悠二, 竹村玲南, 椿崇仁. リハビリボリスの活動報告. 第23回フォーラム『医療の改善活動』全国大会 in 東京. 東京 (2022.11.18-19)
- Junichi Watanabe, Tomoyuki Ninomiya, Shinya Furukawa, Youichi Hiasa. Time spent per day in strenuous activity and total physical activity are inversely associated with mucosal healing but not with clinical remission in patients with ulcerative colitis. 第9回日本予防理学療法学会学術集会. 東京・Web 開催 (2022.11.19-20)
- 木口大輔. 移植とリハビリテーション. 血液がんフォーラム2022. Web 開催 (2022.11.19-20)
- 天野貴裕, 都築宏正, 門田詩織, 畑地豪, 古川克郎. 高齢肺癌切除術における周術期リハビリテーション導入の効果. 第50回四国理学療法士学会. 徳島・Web 開催 (2022.11.27)
- 三瀬和人, 鈴木万葉, 岡田玲奈. 神経心理学的検査にて短期間で認知機能の変化を捉えることのできたクローンツェフト・ヤコブ病の一例. 第46回日本高次脳機能障害学会学術集会. 山形 (2022.12.2-3)
- 木口大輔. 協会指定管理者研修(初級). 日本理学療法士協会指定管理者(初級・職域別)研修会. 松山 (2022.12.10)

(2) 論文・著書

- 青木卓也, 木口大輔, 飯本誠治. 運動器疾患患者の装具療法: 頸椎疾患の場合. 理学療法 39 巻(11 号). 1036-1044 (2022.11)